



湾岸・アラビア半島地域ニュース

サウジアラビア：治安情勢

(4月28日付「アラブ・ニュース」紙他)

1. サウジアラビア内務省は4月27日、外国人を含む少なくとも172名のテロ容疑者が国内各地で逮捕され、7つの武装したテロ細胞が明らかにされたと報じた。
2. 又、内務省は「何名かの容疑者は火器の取り扱いの訓練を開始しており、サウジ国内でテロを実行する為に、航空に関する知識習得の為に海外に送られていた者もいた。彼らの自爆攻撃の主たる目標は、サウジ国内の有名人、石油施設、軍事基地であった」と述べた。
3. サウジ政府は、7つの細胞はそれぞれ独立して活動しており、ひとつの組織下に配属されたものではないと考えている。又、現時点では、逮捕された外国人の国籍は公表されていない。
4. 逮捕された1つの細胞メンバーの供述によると、同細胞は収監されている同志の奪回の為に刑務所の襲撃を計画していた。又、多くの容疑者は、テロ活動をサウジ国外にて実行する計画であった。
5. 逮捕は、ここ数ヶ月間にわたって行われ、累計20万リヤル(530万米ドル)の現金、通信装置や文書、電子ファイル化されたプロパガンダ用文書、攻撃計画等が押収されている。
6. 容疑者のうち120名は2つの細胞の構成員で、残る5細胞はそれぞれ16名、13名、9名、5名で構成されていた。中でも最大の細胞は61名で構成され、そのうち数名はサウジ国内でのテロの実行の為にサウジ国外で航空機の操縦訓練を受けていた。又、59名からなる2番目に大きい細胞のメンバーは、殆どがサウジ人であった。
7. 9名で構成された細胞の1つは、彼らの攻撃目標の近くに武器を隠蔽していた。又、5名で構成された細胞は、2006年2月に発生したアブカイク石油施設テロ未遂事件に関与していたと思われる。
8. 内務省は、サウジ治安部隊はテロリストのリクルート、資金取得の為に活動を含む不穏な行動は全て追跡することが可能と述べている。
9. 米国国務省報道官は、「今回の逮捕は、サウジが米国のパートナーとしてテロとの闘いに継続的に努力している現われである」と評価した。

本「かわら版」の許可なき複製、転送、引用はご遠慮ください。

ご質問・お問合せ先 財団法人中東調査会 TEL:03-3371-5798、FAX:03-3371-5799